

視覚認知機構
複合感覚情報処理
色彩情報処理
視環境制御設計
加齢福祉工学



教授
岡嶋 克典

オカジマ カツノリ



大学院環境情報研究院 社会環境と情報部門
大学院環境情報学府 情報メディア環境学専攻 情報メディア学コース
理工学部 数物・電子情報系学科 数理科学教育プログラム
okajima@ynu.ac.jp
http://www.okajima-lab.ynu.ac.jp

【研究概要】

視覚系を中心とした脳の情報処理機構の解明・モデル化・シミュレーションと、ヒューマンファクタを考慮したバーチャルリアリティ、シミュレータ、画像表示システム、コンピュータグラフィックス、色彩処理システム、福祉情報システムの開発等、多彩な研究テーマに取り組んでおります。脳は大変魅力的な研究対象であり、これまでにない新しい技術や原理がめめられた知の宝庫です。脳の秘密を解き明かし、その知見を応用した新しい技術を創造し開発し、実際の現場・社会に应用する、というのが本研究室のモットーです。また、視認性や操作性等のヒューマンインターフェース評価、ならびに視覚特性やバーチャルリアリティに関する当研究室のノウハウや技術を各方面に应用することで、様々な製品の評価や開発・規格作りにも広く貢献しております。

【アドバンテージ】

最終的に製品の良し悪しを決定するのは、スペックではなく、人の評価です。人間の特性を無視した商品開発は無意味です。しかし、人間の特性を定量化するためには、様々なノウハウや知識が必要となります。当研究室では、人間の実際の知覚・認識特性に関する基礎研究から、情報科学を駆使したモデル化・定式化、現場ですぐに活用できるアプリケーション開発までを一貫して行なっています。また、視覚(画像)系がメインですが、聴覚(音)・触覚・味覚(食感)・身体運動系まで幅広くカバーし、共同研究においても多くの成果を上げています。

■ 相談に応じられるテーマ

ユニバーサルデザイン・バリアフリーの設計・評価技術
ヒューマン・マシン・インタフェースの開発・評価技術
視覚情報処理による製品・視環境の評価システムの開発
色彩工学全般
マルチモーダルシステム学全般

■ 主な所属学会

映像情報メディア学会
照明学会
日本色彩学会

■ 主な論文

『移動物体の視認性における後方発光面の輝度の影響』「照明学会誌」2017.6
『建築物外壁のエイジングによる古さ感とファサードの好ましさの関係』「日本感性工学会論文誌」2016.1
『清涼飲料水の予想されるおいしさと味覚に対する色と香りの複合

最近の主な研究テーマ



【事例紹介】

「誰にでも使いやすいユーザーインターフェースの開発」「見やすい表示手法の体系化」「動画像情報の効率的な表示システム」「ユニバーサルデザインの設計・評価」「各種画像解析システム」「肌知覚と化粧効果の定量化」「食品のクロスモーダル効果」「色彩工学の産業応用」等の研究事例があります。人間の特性を応用することで、今までにない新たなシステム開発が実現できる可能性がありますので、どんな問題でもまずは一度ご相談下さい。

効果」『日本官能評価学会誌』2015.6

『肌の透明感における輝度と色の影響』「映像情報メディア学会誌」2014.12

『2型二色覚者の色名応答における刺激表示時間の影響』「電子情報通信学会情報・システムソサイエティ和文論文誌」2014.1

■ 主な特許

特許第5097925号「人間の眼の分光感度特性の簡易推定方法及び簡易測定システム」

特許第4248769号「色覚変換処理装置」

■ 主な著書

「視覚心理入門—基礎から応用視覚まで—」オーム社 2009.3

「講座 感覚・知覚の科学(第5巻)」朝倉書店 2008.10

「視覚情報処理ハンドブック」朝倉書店 2000.9